

産業水道常任委員会会議記録

日 時 平成28年5月10日（火曜日）

午前10時 2分 開議

場 所 水戸市議会 第2委員会室

午前10時30分 散会

付託事件

(1) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 報告事項

- ① 第42回水戸のあじさいまつりの開催について (観光課)
- ② 平成28年度田んぼアート事業について (農政課)
- ③ 平成28年度水道週間における取組について (水道総務課)

(2) その他

2 出席委員（7名）

委員長	栗原文隆君	副委員長	小川勝夫君
委員	綿引健君	委員	鈴木宣子君
委員	田口文明君	委員	渡辺政明君
委員	内藤丈男君		

3 欠席委員（なし）

4 委員外議員出席者（1名）

議長 村田進洋君

5 説明のため出席した者の職、氏名

産業経済部長	小田木健治君	産業経済部 技監兼農業 環境整備課長	渡邊雅之君
商工課長	小林一仁君	観光課長	小川邦明君
農政課長	深澤和広君	農業技術 センター所長	清水健司君
公設地方 卸売市場長	綿引正治君		
水道事業者 管理者	檜山隆雄君	水道部長	関徳彦君
水道部参事	伊藤俊夫君	水道部参事兼 水道総務課長	小田木義弘君
水道部参事兼 経理課長	青木貴君	料金課長	島孝夫君
水道整備課長	橋本大敬君	給水課長	岡田隆君

浄水管理事務所 川原 井 正 浩 君

農業委員会 江 幡 清 美 君

農業委員会 横 山 英 雄 君
事務局次長

6 事務局職員出席者

法制調査係長 井 原 真 彌 君 書 記 玉 田 誠 一 君

午前10時 2分 開議

○栗原委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業水道委員会を開会いたします。

それでは、これより議事に入ります。

初めに、報告事項の説明を行います。

第42回水戸のあじさいまつりの開催について、執行部より説明願います。

小川観光課長。

○小川観光課長 第42回水戸のあじさいまつりの開催について、御説明申し上げます。

観光課提出のお手元の資料をごらんください。

第42回水戸のあじさいまつりは、四季観光の一環として水戸のあじさいまつりを開催し、保和苑を中心とする周辺史跡への観光客誘致及び地元振興を図り、本市の観光の発展に寄与することを目的として開催いたします。

主催は、水戸のあじさいまつり実行委員会です。開催期間につきましては、6月12日日曜日から7月3日日曜日までの22日間の開催となります。開催会場につきましては、保和苑及び周辺史跡でございます。

行事につきましては、6月12日日曜日にオープニングセレモニーを開催し、口笛世界大会で優勝した口笛奏者、加藤万里奈さんのライブや、大抽せん会、「みとちゃん」の出演を実施いたします。

6月18日土曜日には、千波湖西駐車場、植物公園、保和苑、セツ洞公園、水戸八幡宮、水戸駅を結ぶ、花の名所漫遊バスを運行するほか、常磐大学高等学校の学生による野点茶会や、ボランティア団体「わらじ愛好会」による白浪五人男の公演を実施いたします。

さらに、6月19日日曜日には、石州流による野点茶会と俳句大会を開催するほか、6月25日土曜日の地元あじさい名人によるあじさい講座や、6月26日日曜日の写真撮影コンテスト、水戸黄門漫遊一座写真撮影サービスを実施いたします。

7月2日土曜日には、今年11月に開催される世界オセロ選手権大会のプレイベントといたしまして、みんなでおセロ in 保和苑を実施いたします。

このほか期間中の行事といたしまして、地元産品の販売、あじさい展示コーナー、俳句の一般募集を行ってまいります。

特に、今回の開催につきましては、新たな宣伝グッズといたしまして、厚紙を丸くかたどった正円穴あきうちわを作成いたしまして、旅行会社への事前送付によるPRや、会場で配布して涼むことができるようなおもてなしを行ってまいります。

また、観光案内を行う歴史アドバイザー水戸は、今年度につきましては毎日配置するほか、障害者による障害者就労施設製品の販売を行うなど新たな取り組みを行ってまいります。

説明は以上でございます。

○栗原委員長 内容について、何か御質問等ございましたら、発言を願います。

内藤委員。

○内藤委員 いろいろありがとうございました。

去年もちょっと話したと思うんですけども、保和苑のトイレ、あれはどんなふうにしたの。この前は何か隣につくってあるビル、あそこを借りるという話になったんだけど、ちょっとその辺はどうなっているか。

○栗原委員長 小川観光課長。

○小川観光課長 大型バスが駐車いたします通称あじさい広場の隣に、老人福祉センターあじさいがございまして、そちらのトイレのほうは借りられるということで、使うことが可能になっております。それに伴いまして、大型駐車場のところにもトイレが使えるという旨の表示をして、観光客の皆様に活用していただきたいと思っております。

○栗原委員長 内藤委員。

○内藤委員 中で車をおりるわけだから、表向きで書いてあったのではわからないと思うんだよね、入ってくる時によく見ていない限りはね。だから、中で車をおりてくれば、そこに大きく、トイレはどうぞこちらへと書いてあればわかると思うので、そのようにうまく立てる場所を考えて立ててください。

それからもう一つ、これはちょっと私、聞き漏らしたんだけど、その期間中に、世界オセロ大会プレイイベント「みんなでオセロ in 保和苑」と書いてありますけれども、これは保和苑でやるの。

○栗原委員長 小川観光課長。

○小川観光課長 保和苑内の見晴台のステージのところ、オセロ台とかを用いたり、巨大なオセロ板を用意しまして、「みとちゃん」と例えば梅大使との対戦とか、そのようなイベントを開催してまいりたいと思っております。

○栗原委員長 内藤委員。

○内藤委員 せっかく地元の方がいろいろ保和苑のアジサイに対しては、みんなでよくつくってくれて、そして恐らく1年中やっていますよ。この前も行ったら草刈りをみんなでやっていましたし、だから、そういう整備に対して地元の方が本当に献身の心で一生懸命やってくれているので、皆さんのあれで、今、もみじのほうも植えてくれたり、それから手入れしてくれているので、秋にはそういうもみじ祭りもできるんじゃないかなと思いますし、とにかく地元の方にも、私いつも感謝しているんだけど、今のオセロもね、初めてのことだよ。皆さんで頑張って、うまくそこに人が来て、それができるように協力して、私らも頑張っていきますので、よろしくをお願いします。

○栗原委員長 要望ですね。

ほかにございませんか。

綿引委員。

○綿引委員 2点御質問をさせていただきます。

昨年、参加をさせていただいて、大変いいイベントだなということは感じていたんですけども、その参加した中で一つ感じたことが、物販の部分、地元産品の物販販売のところ、やっぱり私もぐるっと見て回ったときに、余り目立つとか、購入しやすい環境、雰囲気になってないというのは、特にオープニングイベントの日だったんですけども、ちょっと感じたので、その辺の改善点、去年、その前から、ずっと売り上げがどのような感じで推移をしていて、レイアウトを変更することで、もしかしたら売り上げ

がもっと伸びるんじゃないかということを感じましたので、その点の改善策をお聞かせ願いたいのと、あと今回の特色の(3)のところで、障害者による障害者就労施設製品の販売、これはどういう経緯で今回導入をされたのかをお聞かせください。

○栗原委員長 小川観光課長。

○小川観光課長 綿引委員さん、2点御質問いただいたところでございますが、物販について、目立たない場所という御指摘をいただいた部分につきましては、現在やっているところが、通称びんころ地蔵というお地蔵さんの前でして、あそこは必ず人が通る動線上ということで、あそここのところに配置させていただいてございます。売り上げにつきましては、ちょっと状況のほうは把握してございませんですけども、販売している地元の女性団体とかと、その辺、現実的な部分を把握しまして調整を図りたいと思っております。

もう一点、障害者就労事業所の制作共同販売のほうにつきましては、こちらは水戸市障害者共同受発注センターが主催で行っております。こちらの所管につきましては、水戸市の障害福祉課が行っておりまして、こちらとの連携事業ということで、お祭りの中で障害者に販売をする喜びを味わわせるということで、タイアップした事業となっております。

○栗原委員長 綿引委員。

○綿引委員 それぞれのお答えありがとうございます。

今回、このあじさいまつりに関してだけではないんですけども、長く続く事業というのは、どうしてもマンネリ化というか、去年の引き継ぎ、焼き直しをずっとやっていけばいいというような形になっていってしまうと思いますので、新たな特色を今回3点入れていただいておりますし、バージョンアップもしなければいけないし、過去の検証というものもきちんとやっていただきたいということで御質問させていただきました。

以上です。

○栗原委員長 要望ですね。

ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、次に、平成28年度田んぼアート事業について、執行部より説明を願います。

深澤農政課長。

○深澤農政課長 平成28年度田んぼアート事業について、御説明いたします。

お手元の農政課提出の資料をごらん願います。

この事業は、本年度で3年目となる事業でございます。

1の目的でございますが、田んぼアートの制作とイベントの開催により、都市と農村の交流促進及び地域農業の活性化を図るとともに、本市のイメージアップ、交流人口の増加及び公共交通機関の利用促進につなげることを目的に実施いたします。

2の田んぼアート概要でございますが、実施期間につきましては、田植えから稲刈りまでの期間として、6月から10月でございます。規模は50アールで、横幅100メートル、奥行き50メートルの田んぼで

ございます。制作、管理につきましては、田んぼアートを目的に、地元農家が構成する川又田んぼアート協議会に苗づくりや代かきなど、田植え前の準備作業から、田植え、水管理、稲刈りまでの全ての作業を委託いたします。デザイン・制作協力につきましては、茨城大学工学部、_____に御協力をいただきます。これは茨城大学の学生さんにデザインの作成をお願いするとともに、デザインの遠近法処理をお願いすることになっております。田んぼアートは、田んぼアート脇に設置する高さ約5メートルの物見台から鑑賞していただくことになっておりますので、この物見台から見たときに、デザインどおりに見えるよう遠近法処理を行っていただき、さらに、田植えの設計図となる苗の配置図を作成していただくことになっております。

なお、今年のデザインにつきましては、日本遺産に認定されました弘道館などを描く予定でございます。場所は水戸市川又町内の田んぼを予定しております。

3のイベント予定でございますが、6月5日に田植え体験、これは主に小学生以上の子どもを含む家族連れの参加を想定しております、募集人員は200名でございます。

次に、7月24日には、田んぼアートまつりを予定しております。内容といたしましては、オープニングセレモニー、田んぼの生き物観察、農産物、飲食物の販売などがございます。産業水道委員会の委員の皆様には、日程が近づきましたら案内状を送付させていただきます。また、田んぼアートまつり同日に、田んぼアートツアーと題し、大洗鹿島線の車窓から田んぼアートを鑑賞し、田んぼアートまつりの会場を訪れるツアーイベントを予定しております。

次に、10月2日には、稲刈り体験を予定しております。

それぞれのイベントの詳細につきましては、今後、順次JA水戸や地域の関係者等と調整し、決定してまいります。

また、田んぼアート事業の広報につきましては、田んぼアートの生育状況を、定期的に市のホームページやSNSなどで発信するとともに、イベントに際しましては、「広報みと」やチラシを使って周知を図ってまいります。

資料の裏面をごらんください。

参考までに、昨年度の田んぼアートの7月中旬の様子を載せてございます。この写真は、横方向に広範囲を撮影できるパノラマ撮影という方法で撮影したものでございます。今年度もこの写真と同じ規模でデザインの違ったものを作成する予定でございます。

説明は以上でございます。

○栗原委員長 内容について、何か御質問等ございましたら発言を願います。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、次に、平成28年度水道週間における取組について、執行部より説明を願います。

小田木参事兼水道総務課長。

○小田木水道部参事兼水道総務課長 水道部水道総務課より平成28年度水道週間における取組について、御説明をさせていただきます。

1の目的につきましては、厚生労働省で定めた水道週間の際に、施設の一般開放などを実施することによ

り、市民及び児童に対し水道の理解と関心を深めるものでございます。

2の期間につきましては、平成28年6月1日の水曜日から6月7日の火曜日まででございます。

3の取り組み内容につきましては、施設の一般開放といたしまして、水道週間の期間中、午前9時から午後4時の間、楮川浄水場の一般開放を行い、水道の歴史や仕組みについてのパネル展示や、4トン給水車の展示などを行うものでございます。

次に、イベントとして、水のオモシロ不思議実験教室を開催するものでございます。

期日につきましては、6月5日の日曜日に、午前の部は10時から、午後の部は13時30分から行うものでございます。

会場は、楮川浄水場で行い、対象者につきましては、市内の小学校4年生を午前、午後の部各30名としております。

内容につきましては、茨城大学教育学部の_____と学生による、水の中にふる雪などの理科の実験と、水道豆知識として、水戸市の水道について、水道水ってどこからやってくるの?と題しまして、どのようにして那珂川の水が飲料水として御家庭に届くのか、また、そのため施設の更新や耐震化が必要なこと、その経費を水道料金で賄っていることを、水道部職員がわかりやすく説明するものでございます。

裏面をお願いいたします。

裏面につきましては、ホームページへ掲載する水道週間の御案内でございます。詳細につきましては、お目通しをお願いいたします。

説明は以上でございます。

○栗原委員長 内容について、何か御質問等がございましたら発言を願います。

渡辺委員。

○渡辺委員 大した質問じゃないんですけども、これは(2)のイベントの水のオモシロ不思議実験教室の対象が、市内小学校4年生となっていますよね、これは4年生の授業の内容だと思うんだけど、例えばほかに3年生だの一般の家族が来て、子どもを連れてというような場合も一緒にできるの。

○栗原委員長 小田木水道総務課長。

○小田木水道部参事兼水道総務課長 小学校4年生としておりますのは、社会科の授業におきまして、生活に身近な水について学習するということと、また小学校4年生は、楮川浄水場に見学として来ているということで、4年生を対象として、その水道授業の一環として大きく捉えられればいかなというふうに考えております。また、ほかの小学生、4年生以外につきましては、今後、検討もしていきたいかなと考えておりますが、小学校4年生でございますので、どうしても同じ兄弟の方々も一緒に、30名の中には参加者ではございませんが、見学者として一緒に入るような形もとらせていただいております。

○栗原委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 ということは、もう前もって頼んでいるの、ここで40名を。

○栗原委員長 小田木水道総務課長。

○小田木水道部参事兼水道総務課長 水のオモシロ不思議実験教室といたしまして、市内の小学校全てに2,500枚のチラシを配布いたしまして募集をかけております。

○栗原委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 何で聞いたかという、水を飲むのは、この勉強は小学校4年生のジャンルの勉強なんですよけれども、これにも書いてあるように水道週間ということで、自分たちの飲む水というものがいかに大切かということ、まず知ってもらおうというようなことなので、意外と蛇口をひねれば水が出ると、子どもさんなんかそういう感じで、空気と同じようにごく当たり前に感じているわけなので、そういうものが、こういうような形で皆さんの家庭に配水されているんですよなどというようなことをね、しっかり私は教える、そういう1週間であるというふうに思っておりますので、どういうジャンルの人が、どんな形で来るかわからないので、そういうときには臨機応変に対応していただきたいと思いますというようなことでございます。

なぜ、これを言ったかという、これは楮川ダム、これにも書いてありますように、河道外貯留方式というように、これは日本でもなかなか珍しいですよ、水道として、この水を上げて、それを水道水としてためていると、ここにも水戸市民約20日間ぐらいに相当する水がたまっているとありますけれども、要はこれももうできて40年ぐらいたつんですか。たしかこれは建設時も反対運動がすごくありましたよ、こんなに金をかけていいのかとか、どうなっているんだとか、そういうのを水道部の古い方は耳にしているはずですよ。しかし、これは歴史はきちっと語ってきたね。これは水戸市は、ほかのこの周辺の地域で、夏のひでりのとき、もう水が濁水でどうしようもないというときでも、水戸の子どもたち、また水戸の市民、そういう影響はなかったんですよ。まさしく私はこれは優良な社会資本の1つだと。ですから、そのとき、そういう話があったとしても、いわゆる次の次の世代のために、こういう優良な社会資本を整備してきたんだということを、水道部ではぜひ皆さんにお伝えする義務があるのかなと。そのとき大変だったはずですよ、和田さんが市長のときですよ、こんなものをつくっていいのかということ、物すごい反対運動が起こったと記憶しております。そういうような意味を含めて、こういう楮川ダム、先を読んだ先見性のある事業というように、ぜひ、例えばパネルか何か、もし書くときには、今後でもいいですけども、そういう私は大事な水戸市の水道としての先見性のある取り組み、そういうものがあるからこそ、今、東日本大震災でも早急に水の配水ができたというようなことを、しっかり私は市民に訴えていく必要があるというようなことを、感想を感じたものですから、それを意見として述べておきます。

○栗原委員長 意見ね。

ほかにございせんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○栗原委員長 ないようですので、次に、その他に入ります。

委員より何かございましたら、発言をお願いします。

鈴木委員。

○鈴木委員 すみません、先日、行われました水戸のラーメンまつりについて少しお聞きしたいんですけども、昨年度は4万7,000杯ですよ、今回はどのぐらいいかれたのか。

あと、ちょっとこれは私も参加というか、食べさせていただいて、量的には女性はちょっといいぐらいなんですけど、男性はちょっと足りないというような声もあったんですけども、あとはもう一点は、やはり750円ということで、例えば、やっぱりああいうラーメンまつりに行くと、1食じゃなくて、別のもとい

うような声も、それはちょっと何人かの方からお聞きして、もう少し金額を例えば安くして、2杯ぐらいは食べてみたいというような声もあったんですけれども、これはそういう市民の方の声だったものですから、お伝えしたいんですけれども、まずはどのぐらい今回はいったのかというのをお聞きしたいと思います。

○栗原委員長 小川観光課長。

○小川観光課長 鈴木委員の御質問にお答えします。

今年度の開催状況につきましてでございますが、6日間開催いたしまして約4万8,000杯ということになってございます。

あと、料金のことにつきましては、賛否両論、いろいろ御意見のほうはいただいておりますが、全国的に見まして、750円というのが平均ぐらいの値でございます。東京で行いますと、大体800円から900円という金額でも開催しております。遠方から見えるラーメンですので、その価値観をお酌み取りいただければというふうに感じております。

○栗原委員長 鈴木委員。

○鈴木委員 本当に中身は結構、皆さん、すごくおいしいということで、そういう声を私も食べさせていただいたんですが、すごくおいしくて、それで、さっき言ったみたいな、何というんですか、やっぱりせっかく行っているんで、毎日行けるというわけじゃない場合もあるんですけれども、少し少なくして、金額も安くして、例えば2杯ぐらいは食べれるようなという、そういう声とか、あるいは検討とかというのは、いかがでしょうかね。

○栗原委員長 小川観光課長。

○小川観光課長 鈴木委員さんのほうから御提案いただきました食べやすい量、または価格ということにつきましては、主催者であります水戸観光協会や、こちらのほうに協力いただいておりますラーメンデータバンク、または地元のラーメン店等と協議して、今後の検討課題とさせていただきたいと思います。

○栗原委員長 鈴木委員。

○鈴木委員 ありがとうございます。ボランティアの方ですか、すごくラーメンの後片づけとかも手際よくて、それもすごく、いつもきれいな状態だったという声もお聞きしました。一応これは意見です。

あともう一点なんですけれども、先ほど水道週間ということであったんですけれども、今回、熊本地震のほうに、本当に水を大量に届けていただいたということで、すごく感謝されていると思うんですけれども、ふだんから、こういったときのためというのは、ちょっとおかしいんですけれども、備蓄体制というのはどのようにしているかお聞かせいただければなと思うんですが。

○栗原委員長 小田木水道総務課長。

○小田木水道部参事兼水道総務課長 熊本地震におきましては、まず水道部におきましても、応急給水袋の提供の依頼がございました。結果的に申しますと、日本水道協会を通しまして、関東地方支部の横浜支部を通しまして、茨城支部という形で来ておりました。その中で結果的には集計するのが大変だということで、東京都が全部出したということで、水道部につきましては、応急給水袋は現在9,100枚、在庫として備蓄しております。また、平成27年度、1トンのコンボライフという応急給水のタンク等を整備いたしまして、全市民センターに配布したり、設置いたしました。また、タンク等で応急給水の拠点、配水池等から市

民センターに運ぶためのタンクといたしまして、同じ1トンの応急給水のタンクを2個連結できるものを、トラックに乗せられるような形で、その対応としてその設備も整えて、備蓄として確保してございます。

○栗原委員長 よろしいですか。

ほかにございませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○栗原委員長 ないようですので、それでは、以上をもちまして本日の産業水道委員会を散会いたします。御苦労さまでした。

午前10時30分 散会